

県民の森だより

紙上ギャラリー

県民の森に生育する植物を描いた大和敬子さんの植物画と文を掲載します。彩色・A4版の作品です。

うわみずざくら(ばら科)



数年前、奥日光への小さな旅に誘われた。尾瀬の至仏山側の入り口に着いたのは丁度お昼時で沢山の人が群れていた。立ち並んだ屋台の一つの軒に「うわみずざくら」とあるのが目に入った。もしやと覗いてみると案の定「ウワミズザクラ」の花の穂が箆に盛ってある。「ウワミズ」より「ウワズミ」の方が馴染み易いのか、上澄桜と誤っている人が案外多い。

まだ若い蕾の穂は十二、三cmほど。早速注文してみた。ごく薄い衣をつけて揚げられた花は一皿に五本。薄い若緑の粒々が透けて何とも初々しい。ほおばると口いっぱい独特のクマリンの香りが広がり清冽な印象である。仄かに漂う青臭さが、山気とでもいいたい野趣を感じさせる。お代わりをして連れに笑われたが、思いがけない口福との遭遇に心満たされた忘れ難い旅になった。

白い細かい花が穂状に咲いて桜の仲間と思えぬ姿だが割合方々で見られる花で、県民の森にはシウリザクラ、イヌザクラとの三種がある。

岩手県 県民の森管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL・0195-78-2092

FAX・0195-71-1778

<http://kenminnomori.com/>

E-mail forest@kenminnomori.com



県民の森ガイド

樹木園・郷土の森周辺



樹木園入口とサクラの林



ミツデカエデ前から郷土の森を望む

ミツデカエデ



希樹園前ドイツウヒ生垣

県民の森・東側の入り口に大きな立て看板があります。その看板に向かって左の道に入ると希樹園の入り口。その前を道なりに進むと右にカーブし、30m程先の左側が樹木園の入り口です。その先は、郷土の森、憩の森、生産の森、野鳥の森と続き、昭和50～52年に「青少年の森」として全体的に整備された区域です。

30数年経過した現在、この一帯の奥には蔓が絡む樹木、夏には蔓の葉に覆われる林縁も見受けられますが、自然観察に適した場所になっています。

樹木園の入り口の大きな灌木は、ニシキギです。遊歩道をたどると、右側にミヤマザクラ等、白い花弁の桜が多く、三十本位あるでしょうか。左側にはシラカンバ、そしてカエデの種類としては、珍しいミツデカエデがあります。和名の漢字表記は、三手楓。県民の森には、この1本だけのようなです。カエデは他に、ウリハダカエデ、ヤマモミジ等。灌木は、コマユミ、キブシ、ヤマツツジ、ノリウツギ等。草むらには、フデリンドウ、ネジバナ、センブリなどが四季折々に咲いています。

まっすぐ行くと郷土の森の入り口。クロモジの多い山道に入ります。広葉樹林にコミネカエデが点在する秋の紅葉は、渋くて趣のある風景。熊鈴を鳴らしながら通る道です。砂防ダムを渡り、丸太の急な階段を昇ると、そこは憩の森。四季折々の山野草や樹木の表情に出会える大好きな場所です。県民の森の「新奥の細道」は、この道から野鳥の森へ進みます。もうすぐ雪解け、春の妖精達に出会う日も間近です。

ベランダの野鳥 ～ 3月は気まぐれ～

3月中旬、気まぐれな
気候に戸惑う日々。

朝、窓の真下の雪原に
丸い物が見えました。

細かな雪が降る中で、
置物みたいにじっとして



カワラヒワ

いるヤマドリです。羽毛を膨らませ、大きな
楕円形になって寒さを凌いでいるのでしょう。

目が合っているのに動きません。ドアを開けると
音に気付き、一目散に林の斜面を駆けて行きました。先程迄の半分位に痩せた姿で...

翌日は、春のような陽気。

いつものカーブでヤマドリ が、精一杯背伸びを
しながら羽ばたけど飛び上がれず仕舞。

下り坂の真中ではドバトのつがい、お食事
中です。車が近づくと左右に飛び立ち、背面から尾羽根の青色が陽射しに映えて素敵です。

今朝、餌台には珍しくカワラヒワが...

翼の黄色い模様が鮮やかでした。

もっと知りたい地球のこと

地球温暖化・森林の
役割を少しずつ

大気中における赤外線吸収、放出の主役は、大気
の主成分の窒素や酸素ではなく、水蒸気や二酸化炭素などの微量な分子です。分子は、その種類に応じて特定の波長の電磁波を吸収、放出することが物理学的に解明されているそうです。

電磁波の一種である赤外線的作用によって温室
効果が生まれ、その主役が二酸化炭素であれば、二酸化炭素の増加が温暖化をまねくこととなりますね。

しかし、実際にどのくらい温暖化するのかの予測
は、不確かさがあることを覚えておきましょう。

例えば、大きな火山が噴火すれば日射が遮られ、
一時的に温暖化が抑制されます。また、温暖化により何らかの気象変化が生じることも考えられます。

次回からは、温暖化対策について調べてみることに
しましょう。

前月行事から



紐カゴ講座

3月21日(日)紐カゴ講座は、19名の参加を頂きました。参加者は全員女性で、外部講師2名の他、職員とボランティアの4名で指導役を務めました。

今回は中型の紙紐カゴバックです。中布が付いていて軽く、物がきっちり入るので重宝しています。

参加された方々は9時から午後3時近く迄、昼食もそこそこにして完成させました。紐で作った小さなフクロウのストラップをお土産に差し上げました。

上々の仕上がりで、ご満足頂けたようです。

作業安全講習会

3月17日(水)いわて森林再生研究会に講師2名を派遣依頼して、職員の作業安全講習会を行いました。

午前は、安全講習の講義とチェーンソーの目立ての実習です。ポイントは「基本姿勢を身につける。」でした。

午後からは、実習林のスギ林で枝打ちの実習。手慣れた作業でも、ワンポイントアドバイスで「目から鱗」の感じです。

復習も兼ねた受講で新年度に備えます。



安全講習

スギ林の枝打ち
実習



学習館のご案内

地球温暖化クイズ



地球温暖化について、パソコン画面を見ながら学べるコーナーがあります。

メニューは「森林は地球を救う」・「地球温暖化写真館」・「環境問題」。

むずかしい題名ですが、絵や写真で分かりやすい画面とおはなしになっています。これを見てから「×クイズ」に挑戦してみましょう。

クイズに答えると×で判定され、解説が表示されます。そして採点された結果とランキング表により自分の順位が分かる仕組みです。

大人も子供も楽しみながら、学べるコーナーをご利用ください。

読者コーナー

皆様からのお便り・お寄せ頂いたご意見などをご紹介します。

県民の森だよりへのアンケートに寄せて頂いたご感想です。

毎月届くのを楽しみに待っています。次月の行事予定は何かと、手紙を開けるのがとても楽しいです。私は仕事の都合で、あまり参加できませんが、妻は、たまに参加させて頂いております。(後略)

岩手町 60代男性

木材工芸センター情報

木工工芸センターは、木工製品販売とお客様の手作りのお手伝いをしています。

4月29日(祝)の木工教室は、五月人形です。



あなたもトライして見ませんか。

五月人形
手作り体験料
3,000

県民の森お宝拝見

県民の森の自然展用に作成した植物画と毛筆による説明文をご紹介します。

「県民の森に親しむ会」の大和敬子さんの作品です。今月は、いしみかわ(たで科)です。



早春のフィールドから

キブシ
(キブシ科)



マンサク (マンサク科)



ヤマハンノキ
(カバノキ科)



フキノトウ
(キク科)



バッコヤナギ
(ヤナギ科)

ドイツトウヒ
(マツ科)



球果 (15 cm位)
と落葉

ギャラリー案内

自然観察会 企画写真展

於：学習館 2F
ギャラリー
期間：5月1日
～7月31日
荒川三郎氏による・続探訪の譜
「魚止めの滝」
の四季」を展示
します。
自然観察会の企
画に合わせた写
真展です。



4月7日 松川大橋、柱状列石前の流れ。
硫黄分等を含む水は青みを帯びている。

